

気がかりな姿を改善するための課題の設定と指導・支援にかかわる実践的研究 —生徒のしぐさ、表情、言動等に着目して—

特別支援教育班 金子知美（特別支援学校教諭）

気がかりな姿とは…

対人関係や学習上・行動上の課題等
(突拍子もないと感じられたり、意味不明と受け取られたりしがちな姿など)

うまく改善して、生徒本人に自己肯定感をもちたい。

社会学の発想を活用して、対象生徒の日常の様子を記述して、本人のしぐさ、表情、言動等に着目して、本人の思いやその原因などを推測することで、効果的な指導・支援の手だてを考えることができるかもしれない。

生徒本人のしぐさ、表情、言動等に着目して、気がかりな姿を改善していく実践例

高等養護学校3年生のA男くんの歯磨きの場面を例に…



友達①

Aくんは、食べかすや歯磨き粉が顔に付いている汚いな。



友達②

Aくんはいつもみんなから注意されているな。



友達③

Aくんは水をはねさせるから近寄りたくないな。

虫歯が心配です。歯科検診の度に引っ掛かっているのが悩みで…

母親



本人

汚いと言われるのは嫌なだけだな…。
赤ちゃんみたいなのは嫌なだけだな…。
でも、僕はうまくできないから…。

今までは、このように考えて指導・支援をしていた

教師の専門的知識や経験、障害特性への配慮…
☆ 知的障害で自閉的傾向のある生徒だから、単純な言葉で、短い指示を出そう。
☆ 否定的なことは言わないようにして、本人を尊重して自信を付けさせたい。

↓
「低くする」「口をふく」「5回こする」等の具体的な指示を心がける
↓
● なかなか改善しない…

教師

生徒のやり方や考え方や、それまでの教師の指導・支援の方針が合致していない！

社会学の「批判的エスノメソドロジー」という手法の発想を生かすことで改善のための手掛かりをつかむ。

(方法)

- ① 気がかりな姿ありのままの様子を記述する（フィールドノーツの作成）。
- ② フィールドノーツを本人のしぐさ、表情、言動等に着目して読み解くことで、それまで見過ごしていた何かに気付く、本人のやり方や考え方が分かる。
- ③ 本人のやり方や考え方を指導・支援に役立てる。

(フィールドノーツの例)

(9/2) A男はコップの水を口に含んですぐにはき出す動作を2回した。水がたぐさんはねた。(教師)「A男くん、水をはねます。先生の手まで水がはねたよ。はねないようにして。」(A)「はい。」2回、コップで口に水を飲んで高い位置から水をはき出す。(教師はいやそうに)「はねるよ。」A男は膝を曲げて2回水を口に入れて顔の向きを下に向けてはき出した。右手で水道の水をとめたが、水がとまりきっていなかった。そのまま水道を離れた。教師が小さな声で「水道が・・・」とつぶやくと、A男は気付いてすぐに振り返り、蛇口を締め直してから鏡の所にある歯磨きカレンダーに色を塗りに行った。

<本人のしぐさ、表情、言動等に着目して推測したA男のやり方や考え方>

- ・ やり忘れ等に対して、忘れていたことに気付けばすぐに戻ってきてやり直すことができる。
- ・ 実際に近くにいる人が困ったり迷惑がったりすると、水をはねないようにすることができる。
- ・ 「〇〇だから、△△しなさい。」というような指示ではなく、「〇〇だよ。」だけでその先の意味が通じることが多い
- ・ 教師の方針とは裏腹に、「△△する。」という直接的な指示には、空返事で従わなかったり「なんで？」と問い返したりすることが多い。

→現象や理由が分かればそれに対して自分の判断で行動する事ができる。

理由を納得できたり必要性を感じたりすれば、自分自身の意思でそのための行動をとることができる。

→指導・支援のポイントは、その場その場での直接的な指示ではなく、本人が納得するまで説明をすることや他者の気持ちを知らせることである。

生徒本人のやり方や考え方に合わせた指導・支援

☆丁寧な歯磨きの必要性が分かるようにするために…

- 虫歯菌の存在について知識を与える。
- 歯の模型を活用して口の中の形を教える。

☆うまく水をはき出す必要性が分かるようにするために…

- 口から出た水はたとえ透明でも汚いということを教える。
- A男が水をはねさせた時に分かりやすくいやがる。

☆鏡を自分で見る理由を納得できるようにするために…

- 注意される前にきれいにできるとお互いに気持ちよいことを教える。
- A男の顔がきれいだとうれしいことを伝える。
- 顔が汚い時には分かりやすくいやがる。
- 一人のできることの誇らしさを感じられるように賞賛する。

歯の形に合わせて歯ブラシを動かすことができた

鏡を使って、口の中を見ながら歯を磨くことができた

近くにいる人に気を遣って上手に水をはき出すことができた



顔の汚れを気にして自分で鏡を見てきれいにする事ができた

A男の変容した姿

☆本人のしぐさ、表情、言動等に着目することによって、本人のやり方や考え方が分かり、効果的な手だてをとって本人の理解の上に気がかりな姿を改善することができる。

☆このことは生徒本人にとって「自分にも分かる・できる」という自信となり、自己肯定感を高めることにもつながると考えられる。

☆A男に対する指導・支援のポイントとして他の場面でも活用したところ、他の気がかりな姿の改善にも効果的であった。